

令和5年10月15日

奇岩群どんづる峯と古代の路

参加者 26名 距離 9Km 難易度〇〇

10月8日雨のため順延となりました。前日の夜は凄く雨が降っていましたが、天気予報通り朝に晴れて例会日和となりました。

順延になったため、少人数になりましたが、46期の方が1名初めて参加されました。

これからいっぱい楽しみましょう。



にじょうざん

二上山駅

点呼・体操・スタート

せんしょうじ

専称寺

樹齢約200年になる、江戸彼岸系のしだれ桜は、奈良県内で一番早く咲くと言われている。
木像十一面観音菩薩立像は、檜材一本造りで、平安時代中期（10世紀）頃の特徴が見受けられる。



どんづるぼう
屯鶴峯

二上山の火山活動により火山岩屑が沈積し、その後の隆起によって凝灰岩が露出し、1500万年間の風化・浸食を経て奇岩群となった標高150mの岩山。遠くから眺めると、松林に多くの鶴が屯（たむろ）しているように見えることから「屯鶴峯」と名付けられた。めっちゃ！急斜面で怖そうですね。





もしかして、この急斜面で昼食タイムですか！

どんづる入口から二上山駅への帰り道、そして一本松石仏までの楽しい時間



一海さん、柿泥棒ですか？



大谷さん、もしかしてまた、嫌いなアケビですか。



銀行の人きっと笑っていますね。手を振ってくれてるかも？

一本松石仏

砂岩系の巨石を舟形に彫りくぼめ、来迎印の阿弥陀如来立像を彫出している。
「寛正四年」1463年銘
二上山の夕日に照らされる格好の位置にあり、山越阿弥陀の信仰を彷彿させる。この場所に、かつて専称寺があったとも言われている。どうして一本松？



二上山博物館



千数百万年まえに大噴火をした火山なので、多くの火成岩が分布していて、中でもサヌカイト・凝灰岩・ザクロ石（金剛砂）はその後の人類文化の発展に大きく寄与した岩石、鉱物です。この3つの石に焦点を合わせ「全国初旧石器文化を紹介する石の博物館」として平成4年4月開館。



のどかで良い風景ですね！

二上駅

近鉄大阪線・ゴール

歩こう会に入部して、休まずやってきましたが遂にコロナに阻止されてしまいました。行きたかったな。今回は依頼があったので、一海さん、堀川さん、橋元さんからの写真の提供により、作成しました。とっても楽しさが、伝わって来ました。当番代わっていただいた大谷さん、ありがとうございました。

